



みんなのねがい

- (1)
- (2)
- (3)

いきよう・のびよう・てをつなごう

学校教育目標

児童生徒一人ひとりの障がいの状況や特性、心身の発達の段階等に応じて、適切かつ特色のある教育活動の創造に努めるとともに、すべての児童生徒が自己の持つ可能性を伸ばし、「生きる力」を身に着けていくため、きめ細かな指導の徹底をめざす。そのため、教職員と児童生徒及び保護者との心のつながりを深めることに留意し、以下に掲げることがらを中心とした教育の展開に努める。

- (1) 身近の自立ならびに健康・安全に関する習慣や態度を育てる。

(2) 社会生活に必要な基礎的、基本的な知識・技能を確実に習得する。
 - 協働活動の中で、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育てる。
 - 自己達成感を高め、前向きに取り組む意欲を育てる。

(3) 家庭や施設と連携して学習習慣を確立し、卒業後も学び続ける姿勢を育てる。

各学部教育目標

小学部	中学部	高等部
(1) 生活リズムを整え、健康で安全な生活を送るための基礎となる力を育てる。 (2) 一人ひとりに応じた課題を解決していく中で、好きなことを増やし、意欲的に活動に取り組む力を育てる。 (3) 多様な集団活動の中で、周りに積極的に働きかける力を育てる。 <ul style="list-style-type: none">交流及び共同学習を通して、同学年の集団との関わりを深め、お互いを理解し合い、豊かな人間関係を育む。	(1) 健康と安全に留意し、基本的な生活習慣を身に付ける。 (2) 日々の学習活動を通して基礎的、基本的な知識・技能を習得する。 <ul style="list-style-type: none">自分らしい生き方を発見し、望む人生を歩むための知恵や力をつける。 (3) 交流及び共同学習を通して、経験や社会的視野を広げる。	(1) 健康の保持増進と安全に留意した生活習慣を確立する。 (2) これまでに身につけた知識や技能を、自己の将来像を見据えながら活かせる力を培う。 <ul style="list-style-type: none">日々の学習活動を通して互いに協力、協働しながら、自主的、積極的に考え行動できる能力を養う。自分自身のために、周りの様々の環境を知り、主体的にかかわっていく逞しい力を育む。 (3) 交流及び共同学習を通して、豊かな人間性を養い、幅広い社会性を育む。

・基礎的・汎用的能力＝「生きる力」の育成

- (1) 「自己理解・自己管理能力」
- (2) 「課題 対応能力」
- ・「キャリアプランニング能力」
- (3) 「人間関係形成・社会形成能力」

			小学部 又は 初期段階	中学部 又は 中期段階	高等部 又は 後期段階
	キャリア教育の段階		<可能性を探る時期>	<選んで行動する時期>	<決めたことに責任を持つ時期>
	能力領域		初期段階で育てたい力	中期段階で育てたい力	後期段階で育てたい力
いきよう	自己理解能力	自分を知り、自分を律する力 ①生活リズム・健康の維持 ②自己管理・自己理解 ③余暇活動	①環境の変化に慣れ、睡眠を含めた生活リズムを整える。 ②自分のことは自分で行おうとする。または、着替え等で協力動作を行える。 ②身だしなみに気を付けたり、自分の持ち物を管理したりする。 ③自分の好きなもの、やりたいことを見付ける。	①安定した生活リズムの中で、体調を整えて活動に参加する。 ②自己の長所や欠点に気づき、自分らしさを発揮する。 ②自己の運動能力の特性に応じた技能獲得を練習していく。 ③自己の個性や興味・関心を知る。	①季節に応じた体調管理を行い、感染症予防に取り組むことができる。 ②職業、進学の関係における自己の能力・適性を分析・理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。 ③積極的に余暇活動を見つけ、充実した生き方を考える。
	課題対応能力	課題を見つけ、解決する力 ①探索する ②工夫する・実行する ③解決する	①様々な刺激を受け止める。 ①自発的に選択する。 ②模倣する。 ②自分の決めたことに責任を持ち、最後までやり通そうとする。 ③知りたいことを聞くことができる。	①③わからないことを調べたり、質問したりするなど、自分に必要な情報を探す。 ②違いや変化に気づき、見通しをもって活動に参加する。 ②理解したことを、学習場面や生活場面で活用する。 ②目標を持ち、見通しをもって学ぶ。	①周りの人からのアドバイスを参考にしながら自分の考えをもつ。 ②自分の目標を設定し、それに向けて主体的に取り組む。 ③他者からの評価を受け入れながら、自分の活動を振り返る。
のびよう	キャリアプラン能力	将来について考え、行動する力 ①目標をもつ・やりがいをもつ ②様々な情報を知る	①自分の好きなもの、大切なものを選ぶ。 ①自分の好きなことを見つけて、学校生活を楽しく活動する。 ②身近で働く人々の様子がわかり、興味・関心を持つ。 ②いろいろな職業や生き方があることを知る。	①憧れの職業を持ち、今しなければならないことを考え取り組む。 ①学習や進路選択の過程を振り返り、次の選択場面、目標に生かす。 ②自己の個性や興味・関心等に基づいて、より良い選択肢があることを知る。	①学校、社会において自分の果たすべき役割を自覚し、積極的に果たす。 ①現場実習、進路先体験を通して、自己の目標を設定する。 ②様々な経験を通して、勤労の意義や働く人々の思いが分かる。
	人間関係形成能力	共に社会を生きる力・つながる力 ①意思表示 ②周りの人とのかかわり（挨拶・返事） ③チームワーク・協力 ④状況適応	①自分の気持ちに気づく（快・不快）。 ①②自分の気持ちを表情や態度、動作、簡単な言葉で相手に伝える。 ①②困った時に、他者に助けを求める。 ②③異年齢集団も含めた友達との活動に進んで参加し、協力しながら役割と責任を果たそうとする。 ③決められた時間や決まりを守ろうとする。 ④社会のいろいろなルールを知る。	①②自ら他者に関りを持ち、主体的に挨拶をしたり、気持ちを伝えたりする。 ②自分の良さや個性が分かり、他者の良さや感情を理解し、尊重する ③互いの役割や役割分担の必要性を知る。 ③友達との協力関係で物事に取り組む姿勢、経験を深める。 ③④社会の一員としての意義、責任、ルールを理解する力を学級の中や家庭の中で身に付ける。	①②自分の悩みを話せる友人や支援者を持つ。 ②他者の価値観を理解し、それを受け入れる。 ②互いに支えあい、分かり合える友人を得る。 ③新しい環境や人間関係を生かしてチームワークを高める。 ④議論や状況から結論を導き出す。 ④時間、場所、場面に合わせて適切に対応することができる。
てをつなごう	<配慮事項> 共通領域		同年齢の児童と一緒に学習する機会を設け、多様な考え方に触れる環境を増やす。	保護者と連携を図り、自立に向けて土台作りを家庭と連携して取り組む。	公共機関や社会的資源を活用するなどして、自立するための支援制度などの全体像、個別の内容、利用方法、利用効果を知り、実践的な活用能力を培う。

